

自 令和2年4月 1日  
至 令和3年3月31日

## 事 業 報 告 書

公益社団法人日本将棋連盟  
会長 佐藤康光

# 令和2年度 公益社団法人日本将棋連盟

## 事業報告

〔自 令和2年4月1日～ 至 令和3年3月31日〕

### 【定款抜粋】

第4条 本連盟は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 棋戦を主催し対局棋譜の提供及び棋戦の解説講評等を行い、将棋の普及啓発を推進する
- (2) 機関誌の定期発行・棋書の随時刊行により、将棋の普及発展を図る
- (3) 全国各地で講習会、大会を開催するとともに、支部等を設置して広域的に事業を展開する
- (4) 国際的な対局の開催や国際大会の支援を通じて、将棋文化を世界に発信する
- (5) セミナー・育成等の修練の場として将棋会館を設立し、一般への施設貸与にも供することにより広く棋道の発展を図る
- (6) 専門棋士を全国各地及び海外へ派遣し、将棋の拡大発展を図る
- (7) 各文化団体と連携を図り、日本固有の文化を継承発展させる活動に寄与する
- (8) 学校教育の場において将棋の普及啓発が図られるための活動を推進する
- (9) アマチュア段級位制度を通じて、将棋の普及啓発を図るため免状、認定状等を発行、交付する
- (10) その他本連盟の目的を達成するため必要な事業

## 定款 第4条 (1) 項に関する事業報告・・・1. 事業 (1) 棋戦事業

### 1. 竜王戦 (第33期 読売新聞社)

- (1) 竜王保持者以外の現役棋士と女流棋士4名・奨励会三段1名・アマチュア6名の計177名が、1～6組に分かれてトーナメント戦(ランキング戦)を行なった。
- (2) ランキング戦通過者11名による決勝トーナメントを行ない、羽生善治九段が挑戦者となる。
- (3) 豊島将之竜王と挑戦者羽生善治との間で七番勝負を行ない、4勝1敗で豊島将之竜王が防衛した。  
<10月～12月>

### 2. 名人戦 (第78期 毎日新聞社・朝日新聞社)

- (1) A級・B級1組・B級2組・C級1組・C級2組の各クラスの順位戦に136名が参加し、渡辺明三冠がA級の最高成績者となる。
- (2) 豊島将之名人と挑戦者渡辺明との間で七番勝負を行ない、4勝2敗で渡辺明が名人を奪取した。  
<4月～6月>

### 3. 叡王戦 (第5期 株式会社ドワンゴ)

- (1) シード者以外の現役棋士と女流棋士1名、アマチュア1名の計167名がトーナメント形式による段位別予選を行なった。
- (2) シード者8名、予選通過者16名の計24名による本戦トーナメント戦を行ない、豊島将之竜王・名人が挑戦者となる。
- (3) 永瀬拓矢叡王と挑戦者豊島将之との間で七番勝負を行ない、4勝3敗2持将棋で豊島将之が叡王を奪取した。なお、予選特選局と本戦七番勝負はニコニコ動画において生中継を行なった。  
<6月～9月>※新型コロナウイルスの影響で遅れた。

### 4. 王位戦 (第61期 新聞三社連合<北海道・中日・東京・西日本・神戸・徳島各新聞>)

- (1) シード者以外の現役棋士と女流棋士2名の計162名が参加して、トーナメント形式による予選を行なった。
- (2) シード者4名、予選通過者8名の計12名を紅白2組に分けてそれぞれ総当たりのリーグ戦を行ない、藤井聡太七段が最高成績者となる。
- (3) 木村一基王位と挑戦者藤井聡太との間で七番勝負を行ない、4連勝で藤井聡太が王位を奪取した。  
<7月～9月>

### 5. 王座戦 (第68期 日本経済新聞社)

- (1) 本戦シード者以外の現役棋士と女流棋士4名の計156名が、トーナメント形式による一次予選・二次予選を行なった。
- (2) 本戦シード者6名と予選通過者10名の計16名による本戦トーナメント戦を行ない、久保利明九段が挑戦者となる。
- (3) 永瀬拓矢王座と挑戦者久保利明との間で五番勝負を行ない、3勝2敗で永瀬拓矢が王座を防衛した。  
<9月～10月>

### 6. 棋王戦 (第46期 共同通信社)

- (1) シード者以外の現役棋士と女流棋士1名、アマチュア1名の計142名が、トーナメント形式による予選を行なった。
- (2) シード者26名と予選通過者8名の計34名による本戦トーナメントを行ない、糸谷哲郎

八段が挑戦者となる。

- (3) 渡辺明棋王と挑戦者糸谷哲郎との間で五番勝負を行ない、3勝1敗で渡辺明が棋王を防衛した。

<2月～3月>

7. 王将戦 (第70期 スポーツニッポン新聞社・毎日新聞社)

- (1) シード者以外の現役棋士(162名)が、トーナメント形式による一次予選・二次予選を行なった。
- (2) シード者4名、予選通過者3名の計7名で総当たりのリーグ戦を行ない、永瀬拓矢王座が最高成績者となる。
- (3) 渡辺明王将と挑戦者永瀬拓矢との間で七番勝負を行ない、4勝2敗で渡辺明が王将を防衛した。

<1月～3月>

8. ヒューリック杯棋聖戦 (第91期 産経新聞社、特別協賛：ヒューリック株式会社)

- (1) シード者以外の現役棋士と女流棋士2名の計159名が、トーナメント形式による一次予選・二次予選を行なった。
- (2) シード者8名、予選通過者8名の計16名で決勝トーナメントを行ない、藤井聡太七段が挑戦者となる。
- (3) 渡辺明棋聖と挑戦者藤井聡太との間で五番勝負を行い、3勝1敗で藤井聡太が棋聖を奪取した。

<6月～7月>

9. 朝日杯将棋オープン戦 (第14回 朝日新聞社)

- (1) シード者以外の現役棋士と女流棋士3名、アマチュア2名の計162名が、トーナメント形式による一次予選、二次予選を行なった。
- (2) シード者8名と予選通過者8名の計16名による本戦トーナメントを行ない、決勝は藤井聡太二冠が三浦弘行九段を破って優勝した。なお、準決勝・決勝は公開対局をし、AbemaTVで動画中継を行なった。

<2月>

10. 銀河戦 (第28期 株式会社囲碁将棋チャンネル)

- (1) シード者以外の現役棋士とアマチュア1名の計131名が、予選を行なった。
- (2) シード者35名と予選通過者、女流2名、アマチュア4名の計96名をA～Hの8組に分け、勝ち抜き戦を行なった。
- (3) 各組の最終勝ち上がり者と最多連勝者の計16名により、決勝トーナメントを行い、決勝は藤井聡太二冠が糸谷哲郎八段を破って優勝した。

<決勝放映は9月>

11. NHK杯将棋トーナメント (第70回 日本放送協会)

- (1) シード者以外の現役棋士計135名が、トーナメント形式による予選を行なった。
- (2) シード者32名(女流棋士1名含む)と予選通過者18名による計50名で本戦トーナメントを行い、決勝は稲葉陽八段が斎藤慎太郎八段を破って、優勝した。

<決勝放映は3月>

12. 将棋日本シリーズJTプロ公式戦2020 (第41回 各地方新聞社、協賛：日本たばこ産業株式会社)

- (1) 選抜棋士12名でトーナメントを行い、決勝は豊島将之竜王が永瀬拓矢王座を破って優勝した。全11対局をコロナ禍のため、Abemaスタジオ「シャトーアメーバ」で無観客で行なった。対局の様子はネット生配信した。

こども大会は開催を見送った。

<決勝は11月>

13. 新人王戦（第51期 しんぶん赤旗）

- (1) 26歳以下（10月1日現在）・六段以下（タイトル戦経験者は除く）の若手棋士と女流棋士4名、奨励会三段18名、アマチュア1名の合計40名によるトーナメントを行なった。
- (2) 決勝三番勝負は池永天志四段が斎藤優希三段を2連勝で破って優勝した。

<10月>

14. 加古川清流戦（第10期 加古川市、公益財団法人加古川市ウェルネス協会）

新型コロナウイルスの影響により、開催を見送った。

15. YAMADA チャレンジ杯（第5回 株式会社 ヤマダ電機）

新型コロナウイルスの影響により、開催を見送った。

16. ヒューリック杯白玲戦・女流順位戦（第1期 ヒューリック株式会社）

※令和2年度途中より新棋戦として創設

- (1) 2020年9月現在の女流棋士・女流タイトル保持者の計64名にて実施中。
- (2) 順位決定リーグ戦とトーナメント戦の2段階方式で実施中。
- (3) 2021年3月現在、順位決定リーグ戦5回戦まで終了。
- (4) 6月から順位決定トーナメント戦を開始予定。

<9月～11月> オリンピック対応で第1期のみ開幕が遅れます

17. ヒューリック杯清麗戦（第2期 ヒューリック株式会社）

- (1) 女流棋士65名による予選を行なった。
- (2) 予選勝ち抜き者4名で本戦トーナメントを行ない、上田初美女流四段が挑戦者となる。
- (3) 里見香奈清麗と上田初美との間で五番勝負を行ない、3勝2敗で里見香奈が清麗を防衛した。

<7月～8月>

※第3期より大成建設杯清麗戦として、2020年10月開幕。女流棋士62名による予選（2敗失格システム）を実施中。

2021年3月現在、5回戦進行中。

<9月～11月> オリンピック対応で第3期は開幕が遅れます。

18. マイナビ女子オープン（第14期 株式会社マイナビ）

- (1) シード者以外の現役女流棋士とチャレンジマッチを勝ち上がった女流棋士とアマチュア9名の計61名が、トーナメント形式の予選を行なった。
- (2) シード者4名と予選通過者12名の計16名で本戦トーナメントを行い、伊藤沙恵女流三段が挑戦者となる。
- (3) 西山朋佳女王と挑戦者伊藤沙恵との間で令和3年4月より五番勝負を行なう。

<4月～6月>

19. リコー杯女流王座戦（第10期 株式会社リコー、特別協力：日本経済新聞社）

- (1) シード者以外の女流棋士50名で、トーナメント形式による一次予選・二次予選を行なった。新型コロナウイルス感染防止のため、アマチュア・海外招待者の参加は見送った。
- (2) シード者と予選通過者の計16名による本戦トーナメントを行ない、里見香奈女流四冠が挑戦者となる。
- (3) 西山朋佳女流王座と里見香奈との間で五番勝負を行い、3勝1敗で西山朋佳が女流王座を防衛した。

<10月～12月>

20. 岡田美術館杯女流名人戦（第47期 報知新聞社、  
協賛：株式会社ユニバーサルエンターテインメント）
- (1) シード者以外の現役女流棋士59名が、トーナメント形式の予選を行なった。
  - (2) シード者6名、予選通過者4名の計10名で総当たりのリーグ戦を行ない、加藤桃子女流三段が最高成績者となる。
  - (3) 里見香奈女流名人と挑戦者加藤桃子との間で五番勝負を行い、3連勝で里見香奈が女流名人を防衛した。  
＜1月～2月＞
21. 女流王位戦（第31期 新聞三社連合  
＜北海道・中日・東京・西日本・神戸・徳島各新聞＞）
- (1) シード者以外の現役女流棋士59名が、トーナメント形式の予選を行なった。
  - (2) シード者6名、予選通過者6名の計12名を紅白2組に分けてそれぞれ総当たりのリーグ戦を行ない、加藤桃子女流三段が最高成績者となる。
  - (3) 里見香奈女流王位と挑戦者加藤桃子との間で五番勝負を行ない、3連勝で里見香奈が女流王座を防衛した。  
＜4月～6月＞
22. 霧島酒造杯女流王将戦（第42期 株式会社囲碁将棋チャンネル、  
協賛：霧島酒造株式会社）
- (1) シード者以外の現役女流棋士とアマチュア5名の計74名が、トーナメント形式の予選を行なった。
  - (2) シード者4名と予選通過者12名による本戦トーナメントを行ない、室谷由紀女流三段が挑戦者となる。
  - (3) 西山朋佳女流王将と挑戦者室谷由紀との間で三番勝負を行い、2勝1敗で西山朋佳が女流王将を防衛した。  
＜10月＞
23. 大山名人杯倉敷藤花戦（第28期 倉敷市・倉敷市文化振興財団・山陽新聞社）
- (1) 倉敷藤花以外の現役女流棋士62名とアマチュア2名が参加して、トーナメントを行い、中井広恵女流六段が挑戦者となる。
  - (2) 里見香奈倉敷藤花と挑戦者中井広恵との間で三番勝負を行い、2連勝で里見香奈が倉敷藤花を防衛した。なお、三番勝負第2局は一般に公開して行なった。  
＜11月＞
24. YAMADA 女流チャレンジ杯（第6回 株式会社ヤマダ電機）  
新型コロナウイルスの影響により、開催を見送った。

#### 定款 第4条（2）項に関する事業報告…収1 物品販売、出版、付帯収益事業

1. 月刊「将棋世界」  
A5判、244頁、付録1冊、定価820円、毎月3日発売  
販売：株式会社マイナビ出版
2. 「令和2年版将棋年鑑」  
B5判、640頁、定価（本体4,600円＋税）、7月下旬発売、直販品
3. 書籍  
イ、「久保利明四間飛車実戦集」久保利明 著  
A5判、320頁、定価（本体2,600円＋税）

- ロ、「藤井聡太一強さの秘密」将棋世界 編  
四六判、224頁、定価（本体1, 540円＋税）
- ハ、「木村一基実戦集」木村一基 著  
A5判、288頁、定価（本体2, 460円＋税）
- ニ、「里見香奈 イナズマの一手」森 雞二 著  
四六判、240頁、定価（本体1, 590円＋税）
- ホ、「プロの実戦に学ぶ逆転の勝負術」書籍編集部 編  
文庫判、416頁、定価（本体1, 340円＋税）  
他随時刊行、発売

以上、将棋普及を目的とした出版物を刊行した。

#### 定款 第4条（1）項、（4）項、（6）項に関する普及事業報告

##### …1. 事業（3）普及啓発事業 5）、7）

##### 1. 令和2年度社会福祉活動支援報告①

支援対象大会名 第33回全国障害者将棋大会

実施時期 令和2年11月29日（日）

会 場 東京都北区「北とぴあ」

⇒新型コロナウイルスの影響により中止

##### 2. 令和2年度社会福祉活動支援報告②

支援対象大会名 視覚障害者リモート将棋大会

実施時期 令和2年12月12日（土）・13日（日）

会 場 東京都新宿区「日本視覚障害者センター」

出場資格 日本視覚障害者団体連合組織団体の会員であること

審 判 長 中川大輔八段

参 加 費 無料

表 彰 有段者の部、級位者の部、それぞれの優勝者に日本将棋連盟会長賞・日本視覚障害者団体連合会長賞が授与された。また、入賞者には日本視覚障害者団体連合会長賞が授与された。

主 催 社会福祉法人日本視覚障害者団体連合

後 援 日本将棋連盟他

支援内容 後援名義使用・審判長／運営要員人選補佐

##### 3. 日本文化紹介事業「海外棋士派遣事業」

派遣先 ベラルーシ・ミンスク

日 程 令和2年7月2日～7月5日

⇒新型コロナウイルスの影響により中止

##### 4. 日中友好文化交流事業「海外棋士派遣事業」

事業名 第5回日中友好青少年将棋大会

日 程 令和2年8月7日（金）

会 場 中国・北京

⇒新型コロナウイルスの影響により中止

#### 定款 第4条（3）項、（6）項、（8）項に関する普及開発報告

… 1. 事業 (3) 普及啓発事業 3)、5)

1. 親子ふれあい将棋広場 7月 更生保護会館  
⇒新型コロナウイルスの影響により中止
2. 将棋指導員審査 4月5日 6地区(愛知・北海道・大阪・東京・福岡・仙台)  
⇒行なった
3. 名人戦第3局全国棋士派遣 5月 47地区における大盤解説会  
⇒新型コロナウイルスの影響により中止
4. 第52期女流アマ名人戦 10月 KFC ホール  
⇒新型コロナウイルスの影響により中止
5. 文部科学大臣杯第16回小中学校将棋団体戦 7月 サンケイプラザ  
産経新聞社・文部科学省・文化庁・NHK・JK A  
⇒新型コロナウイルスの影響により中止
6. 第46回「将棋の日」 11月 喜多方プラザ (喜多方市)  
⇒新型コロナウイルスの影響により中止
7. 学校へ将棋指導者派遣事業 4月～3月  
⇒行なった
8. オリンピック・パラリンピック教育推進校に対する将棋を用いた「日本の伝統的な礼儀・作法やおもてなしの学習」授業の提案活動  
⇒行なった

定款 第4条 (3) 項、(6) 項、(10) 項に関する事業報告

… 1. 事業 (3) 普及啓発事業 8)、10)

1. 将棋道場事業  
将棋会館(東京)、関西将棋会館(大阪)、新宿将棋センターにて将棋道場を行なった。  
入場者同士の対局による棋力認定や、専門棋士による指導対局を行なった。
2. 北海道将棋道場事業  
北海道将棋会館 (札幌市) にて将棋道場を行なった。  
北海道支部連合会へ運営を依頼  
入場者同士の対局による棋力認定や、専門棋士による指導対局を行なった。

定款 第4条 (4) 項に関する国際大会支援事業報告

… 1. 事業 (3) 普及啓発事業 5)

1. 第8国際将棋フォーラム開催  
日 程 令和2年10月22日～25日  
会 場 羽田空港  
⇒2021年10月に延期
2. 東京オリンピック開催に合わせて国際普及を目的とした事業の開発  
⇒2021年に延期

定款 第4条 (5) 項に関する事業報告… 1. 事業 (3) 普及啓発事業 8)、10)

1. 東京将棋会館 教室講習



- ◇遊々将棋塾 第1・3 土曜日 月2回 中級者から有段者、高校生以上  
⇒緊急事態宣言後、開催することなく休講。
- ◇子供将棋スクール 毎週 日曜日 月4回 初心者から1級まで、小学生  
⇒6月より行なった。
- ◇レディースセミナー 第2・4 土曜日 月2回 初心者から有段者、女性  
⇒緊急事態宣言後、開催することなく休講。
- ◇ビギナーズセミナー 毎週 月・火・木曜日（祝日除く） 入門・初心者  
⇒緊急事態宣言後、開催することなく休講。
- ◇ガチンコ子供将棋教室 毎週 土曜日 月4回 初心者 小学生は  
⇒緊急事態宣言後、開催することなく休講。
- ◇パワーアップ！将棋セミナー毎月 第2・4日曜日 小～大学生  
⇒緊急事態宣言後、開催することなく休講。
- ◇師範棋士・女流棋士スーパーサロン 毎日（土日祝日、年末年始を除く）  
⇒6月より行なった。
- ◇タイトル戦・主要対局の大盤解説会の実施  
⇒行なわなかった。
- ◇子供大会等、各種将棋企画の実施  
⇒行なわなかった。
- ◇年末年始 将棋大会の実施  
⇒人数を制限して行なった。

## 2. 関西将棋会館 教室講習

- ◇ビギナーズセミナー 土曜日 月2回不定期 一般向け、級位者  
⇒新型コロナウイルス対策のため、4月・5月は中止、6月より行なった。
- ◇日曜こども将棋スクール 毎週 日曜日 月4回 小・中学生向け、級位者  
⇒新型コロナウイルス対策のため、4月・5月は中止、6月より行なった。
- ◇土曜こども将棋スクール 毎週 土曜日 月4回 小・中学生向け、初級・中級・  
上級クラス  
⇒新型コロナウイルス対策のため、4月・5月は中止、6月より行なった。
- ◇レディースセミナー 毎週 月曜日 月4回 女性(一般)向け、初級・中級クラス  
⇒新型コロナウイルス対策のため、4月・5月は中止、6月より行なった。
- ◇タイトル戦・主要対局の大盤解説会の実施  
⇒新型コロナウイルス対策のため中止。
- ◇夏休み（7～8月）子供大会の実施  
⇒新型コロナウイルス対策のため中止。
- ◇年末年始 将棋大会の実施  
⇒新型コロナウイルス対策のため中止。
- ◇プロ棋士・女流棋士による指導対局（土・日・祝）  
⇒新型コロナウイルス対策のため、4月・5月は中止、6月より行なった。
- ◇関西将棋会館分校 高槻校 毎週 日曜日 月4回 小・中学生向け、級位者  
⇒新型コロナウイルス対策のため、4月・5月は中止、6月より行なった。

## 3. 東・西及び北海道将棋会館利用事業

- ◇棋具備品の貸し出し 随時  
⇒行なった。

## 定款 第4条（6）項、（10）項に関する事業報告

### … 1. 事業 (3) 普及啓発事業 (2)、8)

#### 1. 新宿将棋センター 教室講習

- ◇レディースセミナー 毎月第1・3土曜日 女性
- ◇木曜スクール 毎月第2・4木曜日 50歳以上
- ◇金曜ナイトスクール 毎月第2・4金曜日 初心者から有段者
- ◇新宿・土曜講習会 毎月第2・4土曜日 有段者前後

⇒4月～6月は、新型コロナウイルスの影響で行なえなかったが、7月以降は実施した。

#### 2. 子供将棋スクール 教室講習

- ◇子供将棋スクール町田校 毎週日曜日 (第5を除く) 小学生
- ◇子供将棋スクール川口校 毎月第2・4日曜日 小学生
- ◇子供将棋スクール横浜校 毎月第2・4日曜日 (第5を除く) 小学生

⇒6月より行なった。

#### 3. 子供将棋スクール・提携校

- ◇栄光キッズカレッジ自由が丘校 毎週 土曜日 月4回 小・中学生

⇒廃校となり、行なわなかった。

#### 4. ヤマダこども将棋教室

- ◇全国規模のヤマダ電機50店舗で開催

講師はプロ棋士及び将棋指導員、支部役員・会員、将棋指導員補佐  
対象は初心～5級、中学生以下

⇒5月連休明けから地域によって順次再開した。

### 定款 第4条 (8) 項に関する事業報告…収1 物品販売、出版、付帯収益事業

#### 将棋関連商品事業

- ◇将棋盤・駒 高級品・普及品 随時販売した
- ◇扇子 名人戦記念 5月発売した
- 名人位 8月発売した
- 竜王戦記念 11月発売した
- 竜王位 3月発売した
- タイトル保持者・棋士・女流棋士 随時発売した
- ◇カレンダー・将棋手帳 11月発売した
- ◇将棋関連書籍・雑誌 随時発売した
- ◇他グッズ (置き駒、将棋タオル、大盤セット等) 随時販売した
- ◇新商品を開発した

### 定款 第4条 (9) 項に関する事業報告

#### 1. 将棋免状認定

- ◇専門棋士 (プロ棋士) 指導による棋力認定
- ◇棋道師範・棋道指導員・将棋指導員による棋力認定
- ◇専門誌紙上検定による棋力認定
- ◇新聞・雑誌の紙上検定による棋力認定
- ◇インターネットによる棋力認定
- ◇テレビによる棋力認定

- ◇記念認定
  - ◇将棋会館道場認定
  - ◇新宿将棋センター認定
  - ◇支部会員認定
- ⇒以上、行なった。

## 定款 第4条（10）項に関する事業報告・・・1. 事業（3）普及啓発事業 9）、11）

### 1. 広報活動

- ◇各報道関係者・出版機関に将棋文化の宣伝を行なった。
- ◇会員・棋戦・イベント等の将棋に関する情報を発信した。
- ◇全国各地の公共機関・施設や企業より依頼された将棋イベントや講演等の協力をした。
- ◇テレビ・ラジオ番組・映画・WEB（将棋関係）へ資料を提供し、専門棋士の出演や協力、制作の協力を行なった。
- ◇各マスメディアからの取材等の協力を行なった。
- ◇出版社の書籍編集協力やゲームの商品化に協力を行なった。
- ◇将棋対局における記録など資料整備を行なった。
- ◇ホームページ上により将棋の情報を一般の方々に公開した。
- ◇対局を写真撮影してマスコミに貸出を行なった。

### 2. 電子メディア事業

- ◇日本将棋連盟公式サイト <https://www.shogi.or.jp/>にて将棋関連の情報を配信し、国内・海外への普及振興に努めた。
- ◇モバイルでの棋戦中継事業を実施した。
- ◇インターネット対局サイト「将棋倶楽部24」の運営に協力した。
- ◇インターネット動画に対しての動画配信、動画解説の協力を行なった。
- ◇社内ネットワークの再整備を行なった。
- ◇PC、デジタル機器の資産管理と整備を行なった。
- ◇対局記録の自動化システムの構築と運用を行なった。

### 3. 普及推進事業

- ◇将棋文化振興支援団体（地方自治体代表者）を集めての交流会は新型コロナウイルスの影響で中止となった。
- ◇将棋に関する正しい知識の浸透とそれを有するファンの適切な評価を目的として将棋検定の代替として「春のオンライン将棋ゼミ」を行なった。

### 4. ライセンス事業

- ◇日本将棋連盟公認の付与は実施できなかった。

理事会・社員総会等に関する事項

	開催年月日	議事事項
常務会	2020年4月6日	業務の管理、運営に関して
常務会	2020年4月13日	業務の管理、運営に関して
常務会	2020年4月21日	業務の管理、運営に関して
常務会	2020年4月28日	業務の管理、運営に関して
常務会	2020年5月8日	業務の管理、運営に関して
常務会	2020年5月15日	業務の管理、運営に関して
常務会	2020年5月22日	業務の管理、運営に関して
常務会	2020年5月29日	業務の管理、運営に関して
理事会	2020年6月5日	議案 第1号議案 2019年度決算書類承認の件 第2号議案 2019年度事業報告承認の件 第3号議案 第71回通常総会開催の件 第4号議案 第71回通常総会の議長、副議長 選出の件 第5号議案 フリークラス棋士制度要綱改定の件 第6号議案 竜王戦6組優勝者に関する件 報告
常務会	2020年6月12日	業務の管理、運営に関して
常務会	2020年6月19日	業務の管理、運営に関して
理事会（書面決議）	2020年6月23日	議案 第1号議案 会員規程改定の件 第2号議案 正会員及び準会員の会費減額の件
常務会	2020年6月26日	業務の管理、運営に関して
第71回通常総会	2020年6月29日	議案 第1号議案 2019年度事業報告承認の件 第2号議案 2019年度決算書類承認の件 第3号議案 順位戦制度変更及びフリークラス 棋士制度要綱改定の件
常務会	2020年7月3日	業務の管理、運営に関して
常務会	2020年7月17日	業務の管理、運営に関して
常務会	2020年7月30日	業務の管理、運営に関して
常務会	2020年8月7日	業務の管理、運営に関して
常務会	2020年8月14日	業務の管理、運営に関して
常務会	2020年8月21日	業務の管理、運営に関して
常務会	2020年8月27日	業務の管理、運営に関して

常務会	2020年9月7日	業務の管理、運営に関して
常務会	2020年9月14日	業務の管理、運営に関して
常務会	2020年9月28日	業務の管理、運営に関して
理事会	2020年9月28日	議案 第1号議案 倫理委員承認の件 第2号議案 臨時総会開催の件 第3号議案 会員規程変更の件 第4号議案 東北研修会設置の件 報告
常務会	2020年10月8日	業務の管理、運営に関して
常務会	2020年10月16日	業務の管理、運営に関して
常務会	2020年10月27日	業務の管理、運営に関して
常務会	2020年11月9日	業務の管理、運営に関して
定例報告会 (リモートによる)	2020年11月13日	正会員への報告及び質疑応答
常務会	2020年11月18日	業務の管理、運営に関して
常務会	2020年11月24日	業務の管理、運営に関して
常務会	2020年12月3日	業務の管理、運営に関して
理事会	2020年12月3日	議案 第1号議案 令和2年度中間決算承認の件 第2号議案 会館維持引当資金の件 第3号議案 定款変更の件 第4号議案 役員予定者予備選挙規程改定の件 第5号議案 役員報酬規程改定 報告
常務会	2020年12月10日	業務の管理、運営に関して
常務会	2020年12月18日	業務の管理、運営に関して
常務会	2020年12月25日	業務の管理、運営に関して
常務会	2021年1月13日	業務の管理、運営に関して
常務会	2021年1月20日	業務の管理、運営に関して
常務会	2021年1月27日	業務の管理、運営に関して
定例報告会 (リモートによる)	2021年1月27日	正会員への報告及び質疑応答
理事会(書面決議)	2021年2月3日	議案 第1号議案 臨時総会開催の件 第2号議案 臨時総会議長・副議長選出の件 第3号議案 臨時総会議案の件 議案①関西将棋会館建設について ②定款の変更について

		③役員報酬規程改定について
常務会	2021年2月4日	業務の管理、運営に関して
常務会	2021年2月16日	業務の管理、運営に関して
臨時総会	2021年2月22日	議案 第1号議案 関西将棋会館建設について 第2号議案 定款の変更について 第3号議案 役員報酬規程改定について
常務会	2021年3月5日	業務の管理、運営に関して
常務会	2021年3月11日	業務の管理、運営に関して
常務会	2021年3月18日	業務の管理、運営に関して
理事会	2021年3月24日	議案 第1号議案 令和3年度事業計画書、収支予算書、 資金調達及び設備投資の見込みを記 載した書類 承認の件 報告
常務会	2021年3月29日	業務の管理、運営に関して
定例報告会 (リモートによる)	2021年3月29日	正会員への報告及び質疑応答